

マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

令和7年12月25日

代表理事組合長 國井 浩樹

近年、インターネットやデジタル技術の進展に伴い、さまざまな金融犯罪が発生しており、その手口もますます巧妙かつ高度化しています。新聞やテレビなどの報道で、金融犯罪に関するニュースをご覧になり、不安を感じておられる組合員・ご利用者の方々も多いことと存じます。こうした状況を受け、金融機関に対する社会的な信頼や安全性の確保が、かつてないほど強く求められています。

また、国際的にも、マネー・ローンダリングやテロ資金供与といった犯罪への対策（以下「マネロン対策」）は、金融機関が果たすべき最重要課題の一つとして、その重要性が一層高まっています。私たちが地域社会の皆さまからお預かりしている大切な資産を守ること、そして金融システム全体の健全性を維持することは、信用事業を営む当組合の社会的責務であると強く認識しております。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保し、お客様の大切な財産を金融犯罪から守るため、マネロン・金融犯罪対策を最重要経営課題の一つと位置づけ、これまで以上に取組みを強化してまいります。具体的には、関連法令やガイドラインの遵守はもとより、職員一人ひとりの意識向上や専門知識の習得、監視体制の強化など、組織全体で不断の努力を続けております。

また、私をはじめとする常勤理事が中心となり、マネロン・金融犯罪対策の徹底を組合内で指揮し、全職員一丸となって対策を推進してまいります。今後も、組合員・ご利用者の皆さまに、より一層安心して当組合をご利用いただけるよう、外部専門機関との連携や情報収集にも努め、時代の変化に即した柔軟かつ強固な対策を講じてまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以上